

2007年1月24日
株式会社ブロードバンドセキュリティ

BBSec、IBEにAnti-Abuse Mail Service ASPを導入 ～増え続けるスパムメールへの対処とOP25B^{※1}へ対応を実現～

株式会社ブロードバンドセキュリティ（本社：東京都新宿区、代表取締役：持塚 朗、以下「BBSec」）は株式会社アイ・ビー・イー（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 CEO 坂井 裕、以下「IBE」）に、高度なセキュリティ機能を搭載したセキュアメール ASP サービス「Anti-Abuse Mail Service（アンチ・アビュース・メール・サービス）を導入しました。

Anti-Abuse Mail Service 導入の目的と効果

IBE はスパム対策によるユーザ満足度の向上と、自社ネットワークがスパムの発信元/中継元とならないための対策(OP25B^{※1})のため、万全なセキュリティ対応がなされ、導入/運用コストが低い Anti-Abuse Mail Service を導入しました。Anti-Abuse Mail Service 導入により、当初の目的であるスパム対策による業務効率向上の達成、メールシステムの運用効率の向上と運用コストの大幅な削減を達成されています。特にメールサーバー移行に関する十分なサポートにより、ノンストップでのサービス移行を実現いたしました。

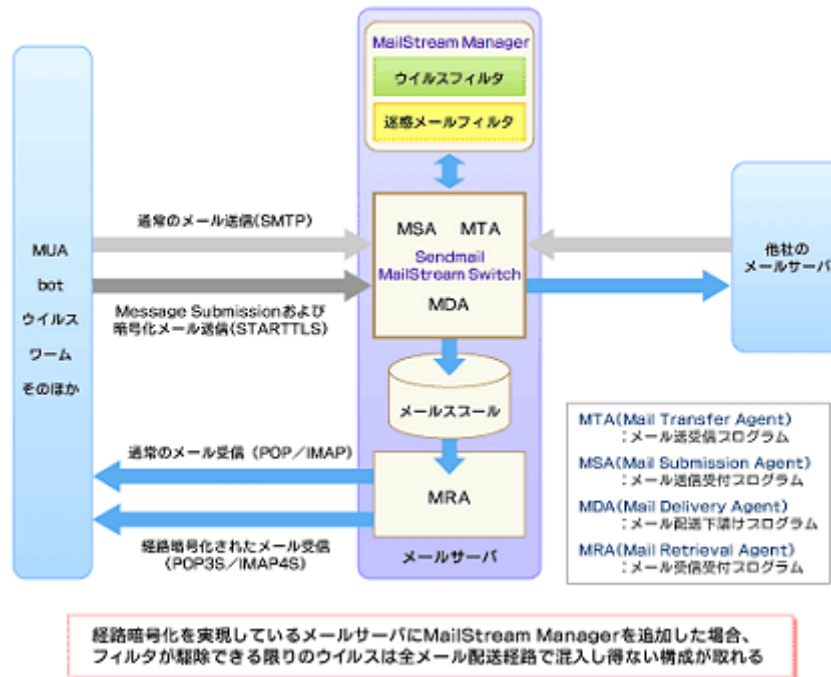
Anti-Abuse Mail Service について

BBSec は、「セキュアメールソリューション」として様々なタイプのお客様にお使いいただけるよう3つのソリューションを提供しております。メールシステムの完全なアウトソーシングを実現する「Anti-Abuse Mail Service ASP」、既存のメールシステムを活かしながら、ウイルス / スパムなどのメールの脅威からメールシステムを守る「Sentrion GateKeeper」、Anti-Abuse Mail Service ASP の機能を専用システムで実現し、お客様専用のメールシステムを構築、監視・運用までを一括して請け負う「Anti-Abuse Mail Service OEM」。その中で今回 IBE 様に導入した「Anti-Abuse Mail Service ASP」は、高い安定性を誇るセンドメールのメッセージングソリューション群、中でも「Sendmail Mailstream manager」(MM)を採用することでアンチウイルス/アンチスパムフィルタを標準装備するとともに、ISP ごとに異なるセキュリティニーズへの柔軟な対応を実現したメール ASP サービスです。最新のスパム対策である「メールサーバに対するディレクトリハーベスティング（アドレス収集）攻撃対策」、「送信ドメイン認証」、「SMTP Authentication」、「Message Submission」、「TLS (Transport Layer Security)/SSL (Secure Socket Layer)による経路暗号化」など、セキュアなメールサービスに必要な機能を完備しています。サーバやストレージの冗長化とともに、BBSec の運用・監視チームが24時間365日体制で運用監視し、システムの安定稼働を実現しています。既存のシステムからのユーザの移行や登録/削除についても柔軟な対応が可能です。

NEWS RELEASE



サービス概念図 (Anti-Abuse Mail Service ASP)



※1 「Outbound Port25 Blocking (OP25B)」ISP が ISP の顧客に割り当てる IP アドレスから ISP の外部に出て行く SMTP 接続 (Port25) を禁止する処置。迷惑メールの大半は、セキュリティホールを利用して一般ユーザの PC に感染した「ボット」から送られている。OP25B を実施することで、ISP の内部に分布するボットから送信される迷惑メールを ISP 外部に流出することを抑止する効果が期待できる。

【本リリースに関するお問合せ】

株式会社ブロードバンドセキュリティ
有本 皓 (ありもと ひろし)
TEL : 03-5338-7424
E-mail : press@BBSec.co.jp

【サービスについての問い合わせ】

株式会社ブロードバンドセキュリティ
営業本部
TEL : 03-5338-7425
E-mail : sales@BBSec.co.jp